

上越市まちなか居住推進事業 【高田地区】 ニュースレター Vol.4

「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”と思う人が自然に集まるまちを目指す新しいまちづくりの取組です！

本紙やホームページを通じて、事業の取組状況を定期的にお知らせしています。

今回は、今年度からスタートした『まちなか居住推進事業補助金』の活用事例を2件、お伝えします。

〇事例その1 大町5丁目で“雁木通りの街なみ”を整える修景工事が行われました！



長年、大町5丁目で呉服店を営んできた町田 信さんは、生まれ育った高田のまちに愛着を持っており、まちに貢献したいという気持ちを強くお持ちでした。

大町5丁目は、NPO団体等による景観づくりの活動が積極的に取り組まれている地域であり、町田さん自身、以前から自宅玄関の修景を検討しておられました。

そこで、『上越市まちなか居住推進事業補助金（雁木通りの街なみ形成支援）』を活用し、車庫の出入口を格子入りの引き戸にして、シャッターをこげ茶色に塗装されました。



まちなか居住推進事業補助金 （雁木通りの街なみ形成支援）

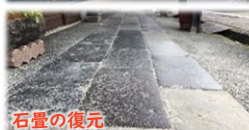
地域の特性に合わせた景観ルールを住民が定め、その景観ルールに基づいて住民が行う修景事業に係る費用の一部を支援する補助金制度です。

【修景事業の例】

雁木の整備



サッシ等の目隠し



石畳の復元



住宅外観の修景

補助対象

- 次の全てを満たす人または団体
- ・区域内に住宅等を所有していること
- ・市税を完納していること

補助対象経費

- ・雁木及び雁木下の歩行面の整備・修景費
- ・住宅等の外観の修景に係る経費
- ・屋根の塗装に係る経費 など

補助額、補助率

修景事業に要する経費の5/6

※雁木及び雁木下の歩行面の整備・修景に係る
補助上限額は雁木1メートルあたり30万円です。

▲ご自宅は店舗兼用住宅（町田呉服店）。雁木通りの街なみに溶け込むよう、引き戸とシャッターは落ち着いた茶系色を選択して、周辺との調和に配慮。

○事例その2 本町7丁目に新たな子育て世帯が住み始めます！

続いてご紹介するのは、ご夫婦とお子さん(2歳)の家族3人で高田地区のアパートから移り住む竹田 菜々さんです。
『上越市まちなか居住推進事業補助金(町家のリフォーム支援)』を活用して、実家である本町7丁目の雁木町家を
“2世帯住宅”にリフォームして、ご両親と一緒に暮らすということで、お話を伺ってきました。



プロフィール

竹田 菜々さん 明治35年創業の呉服店“きもの小川”(本町7丁目)の七代目。高田で生まれ育ち、高校進学とともに(旧姓:小川) 一旦は上越市を離れ、新潟、東京、中国、京都と様々なまちでの暮らしを経験。約10年振りに高田へ帰郷。高田に住む人々の温かさに魅了されて高田のまちが大好きな一児の母。

Q. どうして高田のまちに戻ってくることにしたのでしょうか？

A. 約10年間、高田から離れていましたが、「このまちっていいな」という想いをずっと持っていて、いつかは帰ってきたいと思っていました。なので、このまちに帰ってきたのは自然な流れだと思います。

高田には歴史を感じられる古い建物や緑がたくさんあって、落ち着いた雰囲気です。他のまちで暮らしてみて、高田の良さを改めて認識しました。子どもの頃に感じていたことが残っているのだと思います。

雪国なので住民同士の助け合いの文化が根付いていて、例えば、屋根の上で雪下ろし作業中にお隣さんにご挨拶したり、隣の家まで雪かきしたり、そういう人と人とのつながりや温かさをすごく感じられるまちです。

子どもと一緒に歩いていると声をかけてくれたり、お茶飲みに誘ってくれたり、些細なことでも声をかけてくれるので、人とのつながりが密だと感じます。

Q. 子どもを育てる環境として高田のまちはどうですか？

A. 特別な施設や遊具がなくても、川や海があったり、山を歩いたり、子どもはそれだけですごく喜ぶ。逆にそういう環境が良いと思います。

都会では待機児童の問題がありますが、上越だと保育園・幼稚園の選択肢が多く、子育てサポートも充実しています。

まちなかにも子どもを遊ばせる場所がたくさんありますが、少し出かければ直に自然に触れられる環境があるので、私はここで子育てをしたいと思いました。

Q. 雁木のある街なみをどのように感じていますか？

A. 雁木には愛着があるし、助け合いの象徴です。“生活の匂い”がする街なみが高田の一番の魅力です。

雁木は、日差しが強い日は日除けになるし、車が来ても安心して歩くことができます。雪が多いときには本当に雁木があってよかったと思います。

昔から変わらず、みんなが自分の土地を提供して通路を作っているのは、まさに互助の精神であり、全国に誇れるまちの魅力だと思います。

高田の街なみは、観光地のような作りものではなく、昔からの“本物”が残っていて、ここで生活する人たちの生活感が感じられるところが一番の魅力だと思います。この街なみは残ってほしいです。



▲ 竹田菜々さんご夫婦とお子さん、ご両親の皆さん

まちなか居住推進事業補助金(町家のリフォーム支援)

安全・安心で住み心地がよい町家の普及を図るため、耐震・耐火機能の向上を主目的としたリフォーム工事に係る費用の一部を支援する補助金制度です。

補助対象

次の全てを満たす人または団体

- ・雁木通りに接している戸建て住宅所有者
- ・補助金交付後、10年以上上居住する意思があることなど

補助対象経費

リフォーム工事のうち、次の必須工事を含む工事

- ・必須工事:耐震補強工事または防火・耐火工事
- ・任意工事:必須工事とあわせて実施する工事(住宅の一部の改築、増築または減築工事など)

補助額、補助率

- ・補助対象経費の1/2、上限100万円
- ・子育て世帯の場合、30万円を加算
- ・公共下水道の接続工事を行う場合、上限30万円(補助率1/3)を加算

発行 上越市まちなか居住推進事業事務局(窓口:上越市 都市整備課 市街地整備係)

E-mail:toshi-shigaichi@city.joetsu.lg.jp

Tel:025-520-5764/Fax:025-526-6112

上越市 まちなか居住

検索

